

平成20年度 6月補正予算案の概要

京 都 府



補正予算案の内容

当初予算の編成以降に生じた緊急課題への対応

◆原油価格高騰問題

◆ネットいじめ問題

◆ふるさと納税制度

◆警察署建設用地

補正予算の規模
一般会計 78百万円



障害者送迎サービス原油高緊急対策

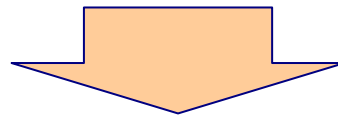
15百万円

急激なガソリン価格の高騰により障害福祉サービス事業所における障害者の送迎コストが上昇



障害者の実費負担が増える恐れ

◆障害者の送迎を行う事業所に対し、ガソリン価格の高騰による増加経費分を助成（30円／日・人）



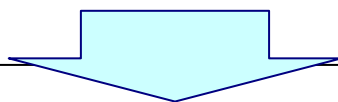
障害者の実費負担の増加を防止



ネットいじめ問題緊急対策

1百万円

学校裏サイト等インターネット上への誹謗中傷の書き込み等が
社会問題化



インターネット上でのいじめやトラブルから 児童生徒を守るための緊急対策

- ◆ ネットいじめに関する専用通報受付窓口の設置
 - ・ 府民からのネットいじめに関する通報の受付及び処理
- ◆ 児童生徒や保護者への啓発・指導
 - ・ 児童生徒への啓発カードの配布、教員向け指導資料の作成
- ◆ ネットいじめ対策会議の設置
 - ・ 知事部局、教育委員会、警察本部等による対策会議の開催

※京都市との協働によるネットいじめに関する連絡体制を構築



「文化財を守り伝える京都府基金」の創設

1百万円

ふるさと納税制度（寄附金）を活用した「文化財を守り伝える京都府基金」の創設

- ◆ ころのふるさと京都の文化財を大事に思っていたいて
いる方々から寄附を募集
 - ・ 専用ホームページの開設、首都圏や府内観光地でのPR
 - ・ 文化・観光関連団体等による協働ネットワークづくり等
- ◆ 寄附者の意向を用途に反映する手法、簡便に寄附できる
仕組みを導入
 - ・ 寄附申出書での意向の聴取、ホームページからの申込み等

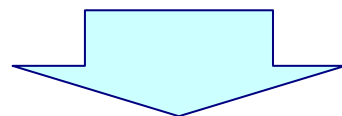
文化財の保存・修理、防災対策等の実施
日本が誇る京都の文化財を後世に守り伝える



中京警察署(仮称)建設用地の取得

府・京都市間で合意した元中京庁舎跡地(府所有)の売却と
市交通局壬生庁舎跡地(市所有)の一部取得

※京都市は本年5月定例会で予算化



元中京庁舎の解体撤去

61百万円

(他に債務負担行為87百万円)

庁舎解体撤去後に京都市に売却

中京警察署(仮称)建設用地の取得

債務負担行為18億円

市交通局壬生庁舎跡地の一部を庁舎解体撤去後に
京都市から取得